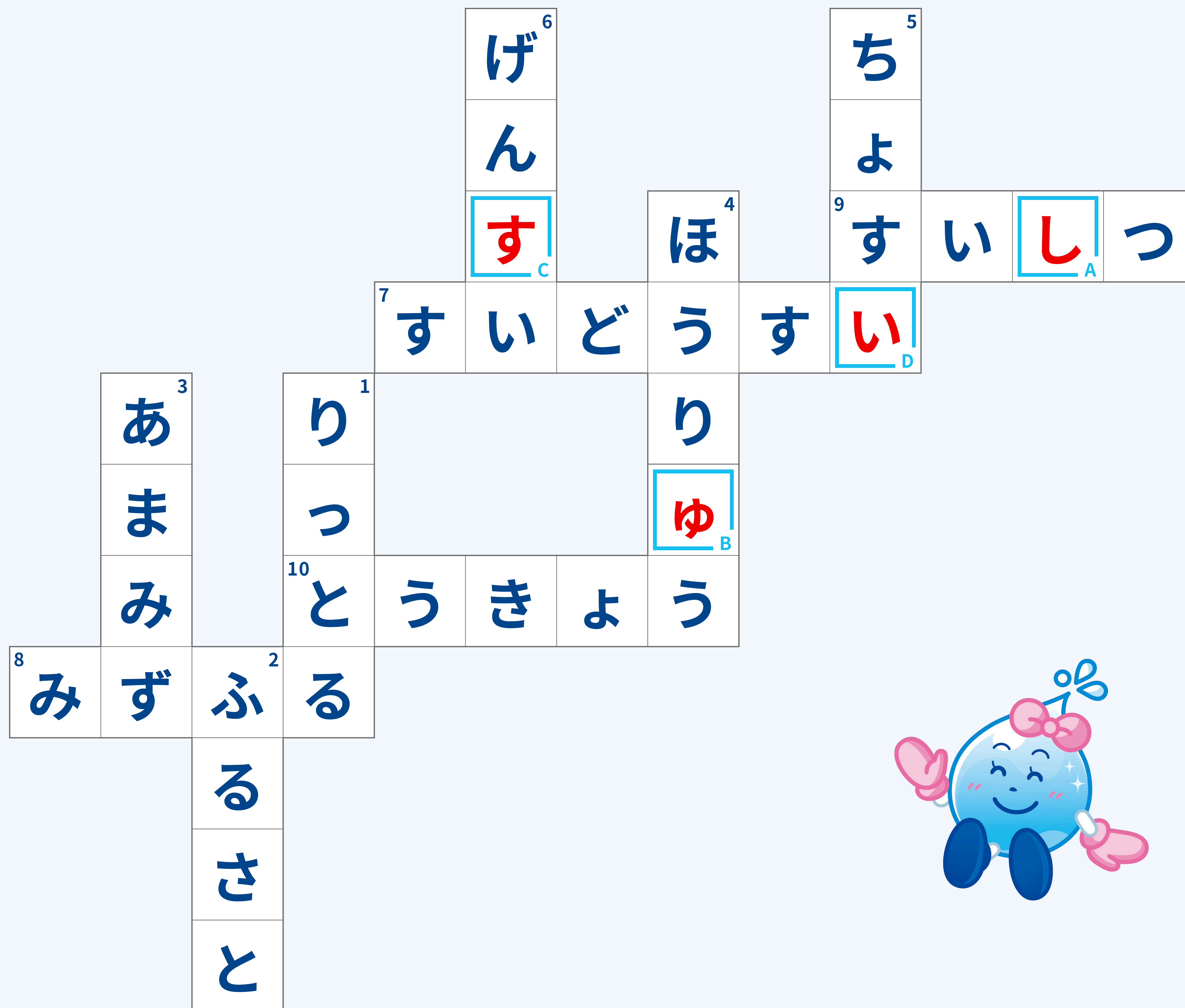
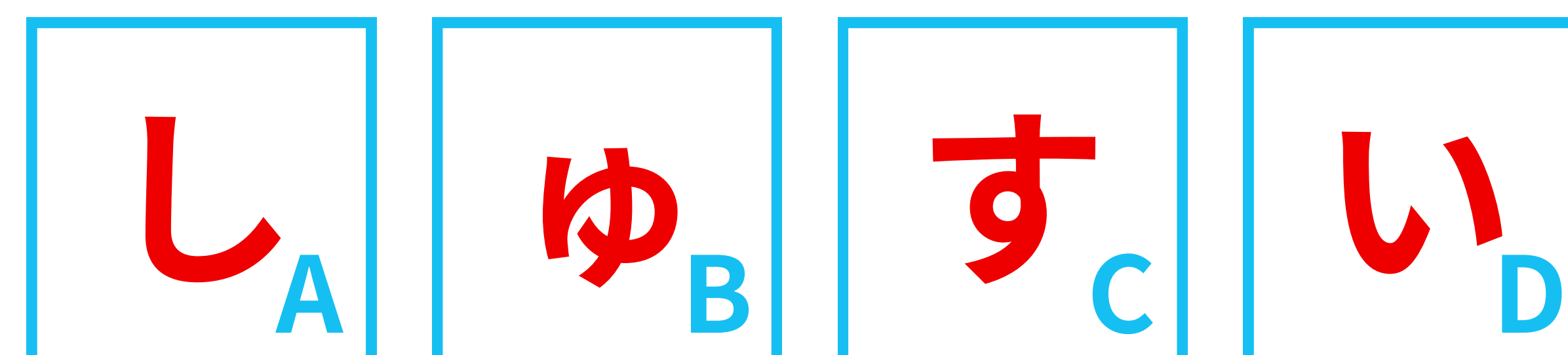


東京水クロスワードパズル



キーワード



↓ タテの鍵

- 1 普段どれくらいの水道水を使っているか、考えたことはありますか？家庭で1人が1日に使う水の量は平均212りっとる程度と言われています。（令和5年度）
- 2 水道水源林は東京の水道水の始まりの場所であることから、「東京水のふるさと」と呼ばれています。
- 3 ダム（貯水池）等の水源施設は、あまみずや雪解け水をためておくことにより、降水量の季節的変化や水道需要の変動に応じて、河川流量を調節する役割を持っています。
- 4 小河内ダムには、「余水吐（よすいばき）」という、大雨や洪水にそなえてすみやかにダムの水をほうりゅうする施設（ゲート）があります。ダムに貯めることができる水の量を超えてしまう恐れがあるときは、この余水吐から大量の水を多摩川に流して、ダムが壊れるのを防ぎます。
- 5 小河内ダムは、東京都の水道専用ダムです。水道専用ダムとしては日本最大のちよすい量です。昭和32（1957）年に完成し、完成から68年となります。
- 6 取水堰（せき）はげんすいの取入口であり、河川の流量変化に注意しながら取水量を総合的に管理する役割を果たしています。取り入れた水は、導水路（導水管）をとって貯水池や浄水場に入ります。

→ ヨコの鍵

- 7 蛇口をひねればでる水道水。この水道水はどうやってできているかご存じでしょうか？水道キャラバンのサイトでは「すいどうすいができるまで』を紹介しています。
- 8 東京都水道局では、多摩川上流域の森林を水道水源林として120年以上にわたり適正に管理しています。多くの方々に水道水源林の魅力を分かりやすく伝えるため「水道水源林ポータルサイト みずふる」を開設しています。
- 9 東京都水道局では、関東地方のほぼ全域に及ぶ河川や湖沼に設けられた約70箇所の地点で、おおむね月一回、検査を行いすいしつや支流の状況を監視しています。
- 10 東京都が1日当たりに川などから取ることができる水の量（水源量）は約680万立方メートル（とうきょうドーム約5.5杯分）です。